令和6年（2024年）

釧路広域連合議会会議録

令和6年2月19日開会
令和6年2月19日閉会

2月定例会

第1回2月定例会

釧路広域連合議会

令和6年第1回2月定例会

釧路広域連合議会会議録 索引

会期 自令和6年2月19日 至令和6年2月19日 1日間

2月19日（月）第1日

議事日程	1
会議に付した案件	1
出席議員(20人)	1
欠席議員(1人)	1
本会議場に出席した者	1
議会事務局職員	1
開会宣告(午後1時57分開会)	1
諸般の報告	
日程第1 議席指定の件	2
会議録署名議員の指名(石澤由紀子議員、松橋尚文議員)	2
日程第2 会期決定の件	2
日程第3 選挙第1号 副議長選挙の件	2
指名推選	
当選告知	
副議長の紹介	
広域連合長の発言	2
日程第4 議案第1号上程	3
提案説明	
秋里事務管理者	3
質疑・一般質問	
小山秀人君	3
蝦名広域連合長	4
入江事務局長	5
佐藤昭平君	6
蝦名広域連合長	6
入江事務局長	7
議案第1号討論省略	
表決	8
・議案第1号表決(原案可決)	8
閉会宣告(午後2時46分)	8
署名	9
付録	
2月定例会議決結果表	10
質疑・一般質問通告一覧表	11
議席表	12
2月定例会議事経過	13

令和6年第1回2月定例会

釧路広域連合議会会議録 第1日

令和6年2月19日（月曜日）

議事日程

- 午後1時57分開議
 日程第1 議席指定の件
 日程第2 会期決定の件
 日程第3 選挙第1号 副議長選挙の件
 日程第4 議案第1号上程

会議に付した案件

- 1 開会宣告
 1 諸般の報告
 1 日程第1
 1 会議録署名議員の指名
 1 日程第2
 1 日程第3
 1 広域連合長の発言
 1 日程第4

出席議員（20人）

議長	21番	畑中優周	君
副議長	10番	佐藤昭平	君
	1番	東隆行	君
	2番	佐藤吉人	君
	3番	高橋正秀	君
	4番	高砂弥生	君
	5番	坂本勝雄	君
	6番	折出征清	君
	7番	石澤由紀子	君
	8番	堀守	君
	9番	鈴木麻由子	君
	11番	石割宗仁	君
	12番	五十嵐誠	君
	14番	日ヶ久保実	君
	15番	松原慶子	君
	16番	大越拓也	君
	17番	松橋尚文	君
	18番	小山秀人	君
	19番	木村勇太	君
	20番	岡田遼	君

欠席議員（1人）

13番 木村隼人君

本会議場に出席した者

広域連合長	蝦名大也	君
副広域連合長	小松茂	君
副広域連合長	大石正行	君
副広域連合長	棚野孝夫	君
副広域連合長	徳永哲雄	君
副広域連合長	若狭靖	君
事務管理者	秋里喜久治	君
監査委員	平山幸弘	君
事務局長	入江義信	君
事務局副主幹	木村淳一	君

議会事務局職員

議会事務局長	石井康司	君
議事課長	井上英幸	君
議事課長補佐	小野亮宇	君
議事課主査	吉田亮	君

午後1時57分

開会宣告

- 議長畑中優周君 皆さんご苦労さまです。
 出席議員が定足数に達しておりますので、令和6年第1回釧路広域連合議会2月定例会は成立いたしました。
 よって、これより開会いたします。直ちに会議を開きます。

諸般の報告

- 議長畑中優周君 議会事務局長に諸般の報告をさせます。
 ○議会事務局長石井康司君 報告をいたします。
 ただいまの出席議員は、20人です。
 なお、釧路市の木村隼人議員より、体調不良のため欠席する旨、届け出がありました。
 今議会に連合長から提出された議案は、議案第1号であります。
 次に、監査委員から、地方自治法第199条第9項の

規定に基づき、監査報告書の提出がありました。

また、同法第235条の2第3項の規定に基づき、例月現金出納検査報告書の提出がありました。

次に、本日の議事日程は、日程第1 議席指定の件、日程第2 会期決定の件、日程第3 選挙第1号、日程第4 議案第1号であります。

以上で報告を終わります。

日程第1 議席指定の件

○議長畑中優周君 日程第1、議席指定の件を議題といたします。

新議員の選出に伴い、会議規則第4条第1項の規定により、議席を指定いたします。

お諮りいたします。

新議員の議席は、ただいまのとおりで指定いたしましたと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。

よって、新議員の議席につきましては、ただいまのとおりと決しました。

会議録署名議員の指名

○議長畑中優周君 会議録署名議員の指名を行います。

今定例会の会議録署名議員は、会議規則第96条の規定により、

7番 石 澤 由紀子 議員

17番 松 橋 尚 文 議員

を指名いたします。

日程第2 会期決定の件

○議長畑中優周君 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今会期は、本日1日間といたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決しました。

日程第3 選挙第1号 副議長選挙の件

○議長畑中優周君 日程第3、選挙第1号 副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることと決しました。

お諮りいたします。

指名の方法につきましては、議長において指名することといたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

副議長には、佐藤昭平議員を指名いたしたいと思います。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました佐藤昭平議員を当選人といたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。

よって、佐藤昭平議員が副議長に当選されました。

当選告知

○議長畑中優周君 ただいま副議長に当選されました佐藤昭平議員が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定により、当選の告知をいたします。

副議長の紹介

○議長畑中優周君 副議長に当選されました佐藤昭平議員をご紹介申し上げます。

○副議長佐藤昭平君（登壇） ただいまの副議長選挙におきまして、当選させていただきました釧路町議会の佐藤昭平でございます。

心より感謝を申し上げますとともに、その重責をしっかりと受けとめて、努めていく所存でございます。

畑中議長のもと、釧路地域6市町村からなる釧路広域連合の、チェック機関、また議決機関としての機能を十分に生かせるよう、二元代表制にのっとり、公平・公正、かつ円滑で効率的な議会運営に努めてまいります。何とぞ、皆様の格別なるご指導・ご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます次第であります。

甚だ簡単ではありますが、副議長就任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長畑中優周君 この際、連合長から発言を求められておりますので、これを許します。

連合長。

広域連合長の発言

○**広域連合長蝦名大也君**（登壇） 発言のお許しをいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、時節柄何かとご多用の折り、本日、ここにお集まりをいただき、令和6年第1回釧路広域連合議会2月定例会を開催できましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

先ずもって、昨年10月に執行されました釧路町議会議員選挙におきまして、めでたくご当選されました、佐藤、鈴木両議員に心からお慶びを申し上げます。

また、ただいま副議長が選任され、連合議会の体制が整いましたことは、誠に心強く、喜びにたえないところであります。

さて、当広域連合清掃工場は、構成6市町村との円滑な連絡調整のもと、地域の環境施策の一翼を担う施設として、これまで大きなトラブルもなく順調に稼働を続けてきてございます。

また、排ガスなどの環境基準も十二分に達成されていることから、安全で安定した運営体制が確立されてきたものと考えております。

ここで、令和5年12月末現在における、清掃工場の運転状況について、ご報告させていただきます。

ごみ搬入量につきましては、6市町村合計で46,445トン、昨年度同期と比べますと、2,025トンの減となっております。2つの炉を計画的に運用することにより、効率的に焼却処理を行っているものであります。

また、資源循環の取り組みのうち、廃棄物発電につきましては、工場で使用する電力の大半をまかなった上で、余剰電力の売電を行っており、令和5年12月末現在で、1億7,265万円の収入を上げております。

経過等につきましては、以上でございます。

このあと、議案といたしまして、「令和6年度一般会計予算」について、ご審議いただくことになっておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

最後に、当広域連合の業務執行に当たりましては、引き続き安全で安定した稼働を基本とし、構成市町村の負担金の抑制につながりますよう、なお一層の効率的で経済的な運営を心がけ、最善の努力をしまいる所存でございます。

今後とも、議員各位並びに関係住民、各町村長の皆様方の、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いを申し上げます。

日程第4 議案第1号上程

○**議長畑中優周君** 日程第4、議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

秋里事務管理者。

提案説明

○**事務管理者秋里喜久治君**（登壇） ただいま、議題に供されました案件につきまして、提案の理由をご説明申し上げます。

議案第1号「令和6年度釧路広域連合一般会計予算」についてご説明申し上げます。

令和6年度の釧路広域連合一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ、前年度対比、246万2千円減の10億9,133万6千円となっております。

まず、歳出の主な内容につきましてご説明申し上げます。

第1款 議会費につきましては、前年度対比、9万7千円減の93万6千円を計上いたしました。

第2款 総務費につきましては、前年度対比、131万2千円減の5,487万円を計上いたしました。

第3款 衛生費につきましては、令和5年度まで実施した基幹的設備改良工事の事業費が皆減した一方で、運営維持管理業務委託費が増加したことなどから、前年度対比、105万3千円減の10億3,523万円を計上いたしました。

第4款 予備費につきましては、前年度同額の30万円を計上いたしました。

次に歳入の主な内容につきまして、ご説明申し上げます。

第1款 負担金につきましては、構成市町村からの負担金で、前年度対比、246万3千円増の7億4,951万2千円を計上いたしました。

第2款 使用料及び手数料につきましては、前年度とほぼ同額の、1億7,567万1千円を計上いたしました。

第3款 繰越金につきましては、前年度と同額としております。

第4款 諸収入につきましては、廃棄物発電による余剰電力の売電収入が好調でありますことから、前年度対比、319万6千円増の、1億6,615万2千円を計上いたしました。

以上をもちまして、議案第1号「令和6年度釧路広域連合一般会計予算」に対する説明を終わります。

よろしくご審議の上、原案どおりご承認くださいますようお願い申し上げます。

質疑・一般質問

○**議長畑中優周君** これより、質疑並びに一般質問を行います。

はじめに、18番小山秀人議員の発言を許します。

○**18番小山秀人議員君**（登壇） 質問させていただきます。

まず初めに、焼却施設における環境問題。地域での温暖化の影響が現出するなか、この対策の重要性が今、問われております。世界ではグローバル・ストッ

クテイクが導入され、より一層の各国、各地域の炭素排出に対する行動強化が訴えられています。2013年比で、2030年の国の削減目標46%、北海道の目標は48%です。広域連合の自治体の一つである釧路市は第2次釧路市環境基本計画の改定により、市域での二酸化炭素排出量については、2030年度までに2013年度比26%を削減としていたものを、この4月より48%に強化することとなります。

ごみ焼却施設は二酸化炭素の排出により、地球温暖化の原因の一つともされてきました。しかし最新の技術と取り組みによって、ごみ焼却施設は環境に負荷を与えない施設へと変わりつつあるといわれています。

しかし、ごみ焼却施設はその焼却業務により二酸化炭素を排出することから地球温暖化の一因となってまいります。このため、ごみ焼却施設の脱炭素化は重要な課題と思われまます。

焼却施設では、最新の技術によって、二酸化炭素の排出量を削減する取り組みが次々と進められてきております。また、再生可能エネルギーの導入により、ごみ焼却施設のエネルギー効率を向上させております。

具体的な取り組みとしては、各地でごみ焼却施設の脱炭素化プロジェクトが進められ、従来の焼却方式よりも二酸化炭素の排出量を大幅に削減する、ごみ焼却の際の負荷を減らし、脱炭素化に繋がっています。事例としては、横浜市鶴見区ではごみ処理場にCO₂回収装置を設け、そのCO₂をメタン、いわゆる都市ガスに変えるメタネーションという技術も行われております。

地球温暖化対策は我々の未来にとって重要な課題と思われまます。ごみ焼却施設での脱炭素化は私たちのこの地域での脱炭素化の中核的な存在となるのではないのでしょうか。地域の環境問題や市民に対して深く影響を与えることと考えまます。

続きまして、発災時の焼却場の受け入れ体制についてお聞きします。

能登半島沖地震が発生し、災害廃棄物の処理を円滑に進める計画、今多発する豪雨や台風、風水害、地震、津波、火山噴火への対応を今再考する必要があるのではないのでしょうか。

大量に発生する災害廃棄物、平時とは比べ物にならない量のごみの発生、この処理が滞ると復旧復興の足かせにもなります。災害廃棄物の処理を円滑に進める組織の常設を各市町村に提案も必要ではないかと思ひまます。

発生する豪雨や台風など風水害の際の対応を想定し、災害時に迅速に対応できるごみ処理体制を整えることが重要だとも考えまます。

高山焼却施設が受け入れる焼却すべき災害廃棄物の種類や性状、処理可能量などを市町村と平時から確認し、処理マニュアルの作成。市町村が水害、地震時の災害廃棄物の発生量を推計し、円滑な処理に繋げる。

自治体などと綿密に連携しながら円滑に災害ごみを処理する、その計画を作ることが欠かせないと考えまます。

続きまして、焼却施設のデジタルトランスフォーメーションの推進。

ごみ焼却施設は作業員が焼却炉の運転のほか、ごみを運ぶクレーンの操作、ごみ収集車の受け入れといった業務をこなさなければなりません。焼却炉は熟練した運転員がごみの成分のばらつきを見極めて運転していると聞いております。JFEエンジニアリング、タクマ、荏原製作所などは、ごみ焼却炉を部分的なものでありますが、ごみ、薬剤の投入など自動で調整する技術も開発しており、国内のごみ処理施設に導入が進んでおります。運転員を設備の点検にまわすなどして、人手不足の緩和にも役立つものと考えまます。

JFEエンジニアリングのシステムは、排ガス中の有害な塩化水素の濃度を監視し、一定の条件を満たすと自動で有害物質を抑える薬剤を投入する。焼却炉にごみを入れる速さも調整し、発電に使う蒸気の量も一定になるように燃焼量の制御も行う。焼却炉をある程度の無人で運転できるようになっております。

一回目の質問をさせていただきます。

現段階で焼却施設における環境問題、脱炭素化について認識をお聞かせください。

広域連合焼却場が受け入れる災害廃棄物の種類、性状、処理可能量など、市町村と平時から確認し、処理マニュアルを組まれているのかご説明ください。

デジタルトランスフォーメーションが叫ばれているなか、自動運転の導入の状況についてご説明ください。以上、一回目の質問を終わります。

○議長畑中優周君 理事者の答弁を求めまます。

連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 釧路市、小山秀人議員のご質問にお答えいたします。

私からは、脱炭素化といひまますか、カーボンニュートラルに向けたことについて、ご答弁させていただきます。

国内におきまましては、2050年のカーボンニュートラルを目標に、脱炭素化社会に向けた様々な技術開発や取り組みが進められているものと認識しているところでございます。

当然、ごみ焼却施設、こちらにおきましても、ごみ焼却時のCO₂の削減に向けた取り組みが必要なことで、新たな技術開発の取り組みも様々な分野のなかで始まっているものと、このように報道等を見ながら認識しているところでございます。その上で、私ども、しっかりとCO₂の排出抑制に、基幹改良工事のなかで取り組んでおり、今またどのようなことが進められていくのか、どんな新しい技術があるのか、という情報収集にしっかりと努めていき、そのなかでこのカーボン

ニュートラルに向けた取り組みを当工場のなかで進めて参りたいとこのように考えている次第でございます。

私からは以上です。

○議長畑中優周君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） それでは私から小山議員のご質問のうち、発災時の焼却施設の受け入れ体制とDX推進のなかでの焼却施設のあり方の二点についてお答えいたします。

災害廃棄物の処理マニュアルについてのご質問でございます。

本連合では、釧路広域連合災害廃棄物処理計画を策定しております。本計画では、本施設で受け入れる災害廃棄物の種類や性状、処理可能量、処理フロー等を定め、大規模災害の発生に備えているということでございます。

続きまして、自動運転の導入についてというご質問でございます。

本施設を運営する釧路エコクリエイション株式会社においては、過去の運転情報をデータベース化するとともに、三菱重工グループが保有するごみ焼却施設に関するビッグデータと合わせて、AIやIOTなどのデジタル技術を活用し、自動運転システムの一部導入を図っているところであります。

また、三菱重工グループにおいては、ご提示のあった各メーカーと同様に、様々な自動運転システムの開発を進めているとお聞きしております。本施設の運転管理においても順次導入が行われていくものと考えております。

私からは以上でございます。

○議長畑中優周君 18番小山秀人議員。

○18番小山秀人議員君（登壇） 2回目の質問をさせていただきます。

高山焼却施設の関係事業者である三菱グループは、CO2の回収・利用・貯留するいわゆるCCUSの技術を世界中で展開しております。

また、釧路にあります釧路ガスはその技術メタネーションという技術をこれから進めようとしています。

また、釧路の中核企業であります釧路コールマインもCCUSを日々取り組まれているとお聞きしております。

今、三菱グループ、釧路コールマイン、釧路ガスとの脱炭素化に向けた共同的な技術支援体制を組めないでしょうか。お聞きいたします。

2つ目といたしまして、豪雨、台風、風水害の焼却廃棄物の推計量、地震、津波の焼却廃棄物の推計量、各自治体との対応の計画はございますでしょうか。また、デジタルトランスフォーメーションの導入によって、その従事者の労働環境の改善にも役立つと考えますが、その点の認識をお聞きいたします。

2回目の質問を終了いたします。

○議長畑中優周君 理事者の答弁を求めます。

連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 小山議員の第2質問にお答えいたします。

私からは、技術の連携についてのご質問にお答えいたします。先程もご答弁させていただきましたけれども、脱炭素化、これに向けての新技术。これにつきましては産学官の連携によります技術開発のほか、各種の業界、団体による実証実験、こういった取り組みが進められているものと、このように承知しているところでございます。そのなかで、私ども様々な取り組みをしっかりと注視していきながら、どのようなかたちのなかでそれを適応させていくのか、運営していくのが重要なことだと思いますので、まず、この情報というものをしっかりと取ってまいりたいとこのように考えている次第でございます。

私からは以上であります。

○議長畑中優周君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） 私から小山議員の2回目のご質問にお答えいたします。

災害廃棄物の処理量の推計等のご質問でございます。

各市町村の地域防災計画では、想定災害の種類が異なることから、本連合では構成市町村が同時に被災し、災害廃棄物の発生量が最大となる、大規模地震災害を想定して、災害廃棄物の焼却処理量を推計しているところでございます。

また、沿岸4市町村については、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波災害を想定して、災害廃棄物の焼却処理量を推計しているところでございます。

続きましてDXの推進の中での、従事者の労働環境改善ということのご質問でございます。

従来の焼却施設においては、熟練した運転員による高度な運転技術により、安全で安定した運転を行っていくことが重要とされてきたところであります。

一方、近年はAIやIOTなどの技術を活用した運転制御技術などが実用化され、当清掃工場においても段階的に導入を図っているところでございます。

こうした技術の導入が、高度な運転技術の維持を可能とするものであり、運転員の負担軽減に繋がっているものと考えております。

私からは以上でございます。

○議長畑中優周君 18番小山秀人議員。

○18番小山秀人議員君（登壇） それでは3回目の質問をさせていただきます。

高山焼却施設は、大津波警報の避難施設と指定されております。その受け入れ体制としてどのようになっていますでしょうか。例えば停電時の対応、ストー

ブ、水などはどのような状況にあるかご説明お願い申し上げます。

また、デジタルトランスフォーメーションは、一層の脱炭素化、更には地球環境、地域の環境改善にも寄与するものと考えますが、その認識をご説明下さい。

以上、3回目の質問を終わります。

最後に予算議案のうちの自治体負担金につきまして、物価高騰で地域の住民の皆様の消費支出が大変だという状況のなかで、第1号議案には私は反対いたしますことを申し上げまして終了いたします。

○議長畑中優周君 理事者の答弁を求めます。

事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） 私から小山議員の3回目のご質問にお答えいたします。

津波避難者の受入れ体制についてでございます。

本施設は、釧路市地域防災計画により、大津波警報発表時に津波避難場所や津波緊急避難施設にたどり着けない避難者が、津波の来襲をやり過ごすために緊急に避難する、津波避難ビルに指定されております。

一時的、緊急的な避難施設として指定されているということでございます。

本施設では、廃棄物発電を24時間行っており、電力会社による電力供給が停止した場合でも、自立運転が可能であり、電力、暖房などは通常通り使用可能であります。

仮に強い揺れで工場が一時停止した場合でも、非常用発電機や予備ボイラーを作動させることで、暖房、水などを最低限供給できる仕組みとなっております。

続きましてDXの推進の中での地域環境の改善と脱炭素化の寄与、とのご質問でございます。

自動運転などの新たな技術を活用することで、安定した施設の稼働に繋がる技術力が確保されているところでございまして、このことと併せて様々な脱炭素化の取り組みの情報を得ていきながら、環境負荷の低減に資する清掃工場の運営に努めて参りたいと考えております。

私からは以上でございます。

○議長畑中優周君 次に10番佐藤昭平議員の発言を許します。

10番佐藤昭平議員。

○10番佐藤昭平議員（登壇） 10番、佐藤です。

本定例会では2点、通告させていただいておりますので、順次質問を行ってまいります。

1回目の地球温暖化対策について、ということですが、国の地球温暖化対策として「2050年、温室効果ガス実質ゼロいわゆるカーボンニュートラル」、また、2021年6月に制定されておりますが、「プラスチック資源循環促進法」らによって日本の廃棄物行政、私は正真正銘の焼却中心からごみの減量・資源化優先への大きな転機が訪れていると受け止めておりま

す。

プラスチックの大量生産、発電効率アップを奨励する多量のプラスチックごみ焼却処理は、熱回収を含めて地球温暖化を加速させ、プラスチックはじめ、ごみの大量発生を促進していると認識をしております。国のごみの焼却処理に特化してきた廃棄物政策は、地球温暖化、地球気候危機という環境破壊に繋がり、廃プラの大量発生、環境汚染を招く大きな原因の一つとなってきたと受け止めています。今、従来型のごみ発生に繋がる大量生産、代替品を含めて大量消費、大量廃棄に歯止めをかけて廃棄物行政の根幹である環境基本法、いわゆる循環型社会形成推進促進法、3R、2Rを重視したごみの行政に立て直すことが求められているのではないのでしょうか。

そこでお聞きをいたします。このプラスチック資源循環促進法を含めて国の方向に対する当連合としての骨太の方針を伺いたいというふうに思います。

2点目は、一般廃棄物についてであります。日本の一般廃棄物、いわゆる一廃の総排出量は、長期的には減少傾向にあるといわれております。ただ、2010年度以降に国のエネルギー回収とリサイクルの両方アクセルを踏むというような行政指導が行われてきたと思っておりますけど、これがごみの減量にブレーキがかかって、減少が鈍化してきているというような状況であります。2020年度でみると、総ごみの排出量は4,167万トン、と言われておりますし、2000年度比で1,316万トン、24%減少しております。2008年度とまた比較するとその差は458万トンですから減少率は9.9%と大幅に減少してきております。一般廃棄物のうちの生活系ごみにつきましても、また事業系ごみにつきましてもコロナの状況ですとか様々ありましたけれども、2つとも減少に鈍化の傾向がみられるというような状況になっております。

そこで当連合のところで考えを聞きたいのですが、この間の連合のところで長期・短期の当連合の実態、国のこういうような全体の状況と比較しての実態などを教えていただければというふうに思います。

2点目としては、こういう状況についての連合としての分析、そこから見えてくる課題認識についてお聞きしたいと思います。

3点目は、今後のこの一般廃棄物についての今後の方針、施策について答弁を求めます。

一回目の質問を終わります。

○議長畑中優周君 理事者の答弁を求めます。

連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 釧路町、佐藤議員のご質問にお答えをいたします。

私からまず、地球温暖化対策についてでございます。

まさに方針ということでございます。このプラス

チックは、使用量でありますとか、廃棄量が膨大であるというのに加えまして、違法投棄ですとか、自然災害により、こういったプラスチックが流れ出し、海洋プラスチック問題が発生するなど、そういった意味では新たなプラスチックの使用量、そして廃棄量を減らすということが世界的な課題であると、このように認識しているところでございます。

国におきましても、様々な予算、または制度的対応、こういった形のなかでプラスチックの資源循環、これを進めているところでございまして、連合といたしましても、この国の方針に基づきながら、これまでと同様に構成市町村と連携したプラスチック資源循環の取り組みを進めてまいりたいとこのように考えているところでございます。

続きまして、一般廃棄物についての今後の方針・施策ということのご質問でございまして。

豊かな環境に恵まれた当地域にございまして、連合を構成する6市町村が連携してごみのリサイクルや、廃棄物処理施設における環境負荷の低減に取り組んでいるところでございます。

こうした取り組みを今後もしっかりと継続いたしまして、国の動向や様々行われている技術開発の取り組みなども注視していきながら、ごみの適正処理に取り組んでまいりたい、このように考えております。

私からは以上であります。

○議長畑中優周君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） それでは私から佐藤議員のご質問のうち、一般廃棄物についてのご質問の長期・短期の釧路広域連合の実態、それから釧路広域連合としての分析と課題認識の2点についてお答えいたします。

まず、長期・短期の当連合の実態ということでございます。本連合におけるごみの広域処理は平成18年度を初年度に、18年が経過していますが、この間の構成市町村における一般廃棄物の総排出量を長期的にみると、前半に若干の排出量増加の期間が4年程度ありましたが、その後は平成25年度をピークに減少に転じております。

短期的には、連合所管の可燃ごみ搬入量で申し上げますと、令和3年度61,856トン、令和4年度61,249トンで、607トン減少しております。

令和5年度については12月末時点での数字でございまして、前年度同月と比較しますと2,025トンの減少となっており、減少傾向が続いている状況となっております。

続きまして、連合としての分析と課題認識というご質問でございまして。

ごみ排出量の長期的・短期的の実績に関しては、連合が所管する焼却対象ごみ量について、常日頃から動向を注視しておりまして、人口減や世帯数減少の影響

が顕著に現れるようになってきていることと併せて、構成市町村のごみ分別による取り組みの成果も出ていていると考えております。ごみ量の減少傾向が明確になっていると考えているところでございます。

私からは以上でございまして。

○議長畑中優周君 10番佐藤昭平議員。

○10番佐藤昭平君（登壇） 2回目の質問をさせていただきます。

まず、1点目に関わってでございますが、1点お聞きをいたします。

国は先ほど言いましたように、大きな方向としては、プラスチックの減量化、資源化ということで動いておりますけれども、一方でこの廃プラの取り扱いの方向というのが、この廃プラの分別を進めることによって、国の資源関係の交付金の対象とするというような形が出されているということで、この廃プラのより一層の分別の取り組みを進めなければ、資源関係の交付金を対象としないというような動きになって、もう少し時間が欲しいと自治体の方から猶予を申し出るというような動きも出てきておりまして、最長でも10年間で、法律は通ったけれども、廃プラのそういう分別が進まない、資源減量化が進まないというようなところも危惧されております。

連合におかれましては、それぞれの自治体での取り組みというようなことになろうかと思っておりますけれども、いずれにしましても、焼却工場との関係では、燃える形で廃プラの取り扱いが減らなければ、やはり環境汚染に繋がっていくということは明らかでありますので、その点で構成市町村との連携ですとか、調整ですとか、そのことがやはり必要なだろうというふうに思いますけれども、その点どういうふうにかお聞きをしたいと思っております。

2点目についても、1点お聞きしたいと思っております。

答弁によりまして、この減少傾向、この連合の構成自治体のところにおいても、ごみの関係は、一廃の関係は減少傾向にあるんだということは理解をいたしました。そうであるならば、今後の焼却工場としての処理能力との関係があるというふうに思います。今の焼却工場の処理能力の状況で言うと、一定の焼却ごみを確保しなければ様々な問題で支障が生じるというようなこととなります。どんどん減ってくるだろう、ごみの排出量と当連合の焼却能力のところを、どういうふうにか今後考えていくのか、ごみ量、いわゆる身の丈に合った処理能力、或いは焼却炉のダウンサイジング等も求められるのではないかと将来的には、そういうふうにも考える訳ですけれども、その点についても方向をお聞きしたい、以上2点を質問したいというふうに思います。

2回目で最後としたいと思っておりますので、私も予算議案のことについて、態度表明をしたいと思っております。

ほど、18番議員のところからもありましたけれども、今回の予算議案のうち、自治体負担の関係につきましては、やはり昨今の状況みれば、地域住民、そしてそれぞれの構成自治体のところでの状況も大変になってきている状況でございますので、その点については、第1号議案に反対をいたすと、いうことを申し上げて質問の方は終了したいと思います。以上であります。

○議長畑中優周君 理事者の答弁を求めます。
連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 佐藤議員の第2質問にお答えします。

まず、地球温暖化対策についてでございます。私どもの認識というか、法律にもなっているのでありますけれども、プラスチックは再資源化が困難な場合に熱回収、これを行うこととされてございまして、このような形のなかで、その対応というものが進められているものでございます。

私どもの清掃工場における熱回収は、ごみの焼却処理の過程のなかで熱エネルギーを回収いたしまして、発電を行ったうえで、工場内の電力需要を賄い、余剰電力については売電を行っているというものでございまして、一般廃棄物の中間処理を目的としたごみの焼却で発生する熱、これを有効に利用しているというものでございます。その上で、この焼却ごみに混じる廃プラスチックの資源循環、この取り組みは、まさしく二酸化炭素の排出量の削減、これに資するものでありまして、これは今後も取り組みを進めてまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、ごみ処理施設の規模についてでございます。

まず、この工場としては、しっかりと処理が行われるということがまず重要な訳でございまして、そういった状況のなかで、しっかりとごみを削減し分別も進んできている、こういった形になってきているものと認識しているところであります。私どもが施設のあり方を検討する際には人口動態等を踏まえたごみ量の将来予測に基づきながら適切な対応を行ってきたところでございまして、今後もそういった予測、こういったものを出していきながら対応し、効率良い形のなかで運営するように進めてまいりたいとこのように考えている次第でございます。

私からは以上であります。

○議長畑中優周君 以上をもって、質疑並びに一般質問を終結いたします。

議案第1号討論省略

○議長畑中優周君 この際、お諮りいたします。
議案第1号について、討論の通告がございませんので、討論を終結し、直ちに採決に入ることにご異議ご

ざいませぬか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長畑中優周君 ご異議なしと認めます。
よって、直ちに採決を行います。

議案第1号表決（原案可決）

○議長畑中優周君 議案第1号、令和6年度釧路広域連合一般会計予算を採決いたします。

本案を原案可決と決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長畑中優周君 起立多数と認めます。
よって、原案可決と決しました。

閉会宣告

○議長畑中優周君 以上をもって、今議会の日程は、すべて終了いたしました。

令和6年第1回釧路広域連合議会2月定例会は、これをもって閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時46分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

釧路広域連合議会 議長 畑 中 優 周

同 議員 石 澤 由 紀 子

同 議員 松 橋 尚 文

令和6年第1回釧路広域連合議会2月定例会議決結果表

会期自 令和6年2月19日
 至 令和6年2月19日
 （1日間）

釧路広域連合議会議長 畑 中 優 周

議案番号	件名	提出者	議決年月日	議決結果
議案第1号	令和6年度釧路広域連合一般会計予算	連合長	6. 2. 19	原案可決

議会に報告されたもの

報告番号	件名	提出者	報告年月日	報告結果
釧路広域連合監査報告第1号	釧路広域連合監査報告書	監査委員	6. 2. 19	報告完了
釧路広域連合監査報告第2号	例月現金出納検査報告書	〃	〃	〃

令和6年第1回釧路広域連合議会2月定例会 質疑・一般質問通告一覧表

順位	月日	議席番号・発言議員	通 告 内 容
1	2/19 (月)	18番 小山秀人 (釧路市)	1 焼却施設における環境問題 (1) 北海道、釧路市など脱炭素化が進められる中での焼却施設の対応 2 発災時の焼却施設の受入れ体制 3 D X推進の中での焼却施設の在り方 (1) 自動運転の導入
2	2/19 (月)	10番 佐藤昭平 (釧路町)	1 地球温暖化対策 (1) 地球温暖化対策である「2050年温室効果ガス実質ゼロ＝カーボンニュートラル(CN)」や「プラスチック資源循環促進法」等を含めた国の方向に対する釧路広域連合としての方針 2 一般廃棄物 (1) 長期・短期の釧路広域連合の実態 (2) 釧路広域連合としての分析と課題認識 (3) 今後の方針・施策

令和6年第1回2月定例会議事経過

会期	年月日	曜	区分	内	容
1	6. 2. 19	月	本会議	開会 議席指定 会期の決定 副議長の選挙 広域連合長の発言 提案説明 質疑・一般質問 表決 閉会	13:57~14:46

釧路広域連合議会会議録
令和6年第1回2月定例会

令和6年3月発行

編集・発行 釧路広域連合議会事務局

〒085-0807 北海道釧路市高山30-1
電話(0154)92-2002

印刷 株式会社 藤プリント
電話(0154)22-9311